







まゆ玉と龍神 でいだらぼっち (この中から組み合せて 原案/金田 拓

上演します

山車(だし)遊び もの売り遊び とうがらし売り

ーオープニング

未来をつくるのは子ども、 子どもの中に未来がある

劇団風の子が八王子市美山町に拠点を構えて30年が たちました。日本全国の子どもたちに芝居を届ける旅公演 の中で、各地方のあそびや文化、芸能に触れる機会が数 多くありました。脈々と流れる人々の思いの深さ、そこから 表現される伝統文化、芸能の数々。それは、その土地に 根付く人々の思いをこめた豊かさを感じさせてくれます。

そして私たちも、ここ八王子周辺に伝わる伝承あそびや わらべ唄、民話、文化、芸能を今一度見つめ直し、掘り下 げ、長い間受け継がれてきた素敵な素材をいかしながら、 子どもたちと共に新たな劇空間を創りあげていきたいと思う ようになりました。

本来子どもがもっている"あそび心" "イメージ力"を信じ、 伝承文化を見直すと同時に、現在と未来を生きる我々と 子どもたちの手で、この作品を通して、新たな「あそび」や 「文化」を再創造していけたらと思っています。

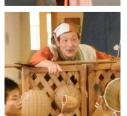
作:構成演出 中島 研

かった、楽しかった、うれしかった感動と共 だれかがうたったわらべうたを、おもしろ えた快感は、幼い心の財産です。どこかで、 りと抱かれた安心感、ぬくもり、全身で覚 を豊かにしていきます。ひざのうえでゆった

たは、その時代を反映してうたわれていきま 然や文化的環境のちがいはあってもわらべう に、だれかが、どこかへ運んでいきました。自

ざる売り あめ売り まゆ玉売り

> 空気を吸い、風を、味を、音を、リズム等を 私たちは、それぞれ生まれ育った土地 わらべうたと郷土







命力をかちとってしまいます。子どもにとっ らでも、子どもたちの心にしのびこんで、生 ては常に新しく、いつも自分たちの真実を表 無視されても、わらべうたは、どんな隙間か しているのが本当のわらべうたなのです 私たちの生活環境がどんなに変わっても、 あそび・わらべうた研究家 古賀由美子



五感(官)でいっぱいに吸収して成長していき

た環境からの「耳ことば」は、感性を磨き、

まだ、しゃべれない、うたえない時期に育っ

遠い昔、近い昔、たしかに聞いたことがある